北海道虻田高等学校いじめ防止等に係る基本方針

国

「いじめ防止対策推進法」

第2条 いじめとは、生徒に対して、当該生徒が在籍する学校に在籍している等当該生徒と一定の人間関係にある他の生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む)であって、当該行為の対象となった生徒が心身の苦痛を感じているものをいう。

北海道

「北海道いじめの防止等に関する条例」

- 1 目的 いじめの未然防止、早期発見及び早期解消等のための対策に関し、基本理念、関係者の責務や役割、基本的な方針の策定並びに対策の基本となる事項等を定めることにより、対策を総合的かつ効果的に推進し、もって児童生徒の尊厳を保持するとともに、児童生徒が互いの違いを認め合い、支え合いながら、健やかに成長できる環境の形成に寄与すること

家庭

「いじめの防止対策推進法」

- 第3条 何人も、児童生徒等といじめではない。
- 2 保護者は、いじめ又はいじめが疑われる事実を知りながらこれを放置してはならない。

学校

1 いじめ防止基本方針

- ・いじめの定義 <いじめ防止対策推進法 第2条を踏まえる>
- ・いじめの様態 <文部科学省 調査項目を踏まえる>
- ・いじめ防止等のための対策 <基本方針>

※詳細：裏面参照のこと

2 いじめ防止の措置

- ・いじめの未然防止 <いじめを許さない集団づくり、倫理観・道徳性の醸成、規律ある集団づくり>
- ・いじめの早期発見 <教育相談、アンケート調査、保護者等の連携、生徒の自主活動、相談窓口の設置>
- ・いじめの発見と解決 <事実関係の調査(みきわめ)、組織的対応、被害者の立場から加害者・保護者対応、全体の問題として対応>

3 いじめ対策の組織

「いじめ防止対策委員会」<構成：教頭・生徒指導部長・教育相談担当・各学年主任>

- ・いじめ対策の点検・評価
- ・年間指導計画の作成
- ・教育相談・研修計画
- ・相談窓口の設置
- ・生徒・保護者啓発
- ・重大事態(プロジェクトチームの編成)

< 北海道虻田高等学校 いじめ防止基本方針 >

(1) いじめの定義

いじめの定義について、いじめ防止対策推進法、第2条を踏まえ、次のとおり定義する。

いじめとは、生徒に対して、当該生徒が在籍する学校に在籍している等当該生徒と一定の人間関係にある他の生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった生徒が心身の苦痛を感じているものをいう。

(2) 具体的ないじめの様態

- ① ひやかしやからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる
- ② 仲間はずれ、集団による無視をされる
- ③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、殴られたりする
- ④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする
- ⑤ 金品をたかられる
- ⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする
- ⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする
- ⑧ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる

<文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」より>

(3) いじめ防止等のための対策の基本方針

「いじめは、どの学級でもどの生徒にも起こりえる」という認識のもと、いじめ防止のための対策を次の基本方針として定める。

- ① いじめは人権侵害・犯罪行為であり、「いじめを絶対に許さない」という毅然とした態度でいじめられている生徒の立場に立って指導する。
- ② 全ての生徒がいじめを行わず、いじめを認識しながら放置することがないよう、いじめ行為は、いじめられた生徒の心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為であることについて、生徒に理解できるよう指導する。
- ③ いじめの問題への対応は、教職員の生徒に対する生徒観や指導の在り方が問われる問題であり、生徒一人一人の個性に応じた指導の徹底や、生徒自らいじめをなくそうとする態度を身につけさせるなど、望ましい集団づくりに努める。
- ④ いじめの問題への対応は、学校における重要課題のひとつであり、一人の教職員が抱え込むことなく、学校全体で対応する。
- ⑤ いじめの問題への対応には、保護者と十分な連携を取りながら信頼関係を構築し、関係諸機関との連携協力を努める。

<いじめ相談窓口>・・・【校内】いじめ防止対策委員会（生徒指導部長：井上教諭）

[担任、教科担任、部活動顧問、養護教諭等に相談してください]

0142-76-2622

・・・【校外】胆振教育局 いじめ相談電話

0120-3882-56